

水木しげる 誕生祭



 境港市議会だより

つなぐ

第5号

2017年5月1日発行
鳥取県境港市議会



平成29年度 当初予算	—	P 2
一般質問	—	P 4
議会運営委員会視察報告	—	P17
議決結果	—	P17

©水木プロ



<http://www.city.sakaiminato.lg.jp/>

境港市議会

検索

平成29年度

当初予算

3月定例議会は、3月1日から23日までの23日間の会期で開かれ、平成28年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、平成29年度一般会計予算・特別会計予算など予算関連15議案、人事3議案、市税条例等の一部改正など条例6議案、その他2議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

(議決結果はP17に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます)



防災行政無線システム デジタル化事業

デジタル式防災行政無線の導入に向けた
基本計画を策定

135万円



不妊治療費等支援事業

県内では初めて保険適用の
一般不妊治療を助成対象として制度拡充

324万円



水木しげるロード リニューアル事業

水木しげるロード全体の景観性、
シンボル性に配慮した道路改良工事を実施

2億5,829万円



住宅・建築物耐震化 促進事業補助金

住宅や建築物の耐震診断・
補強設計・耐震改修費用助成の補助率を拡大

734万円



地域おこし協力隊 推進事業（商店街振興）

都市圏から受け入れた地域おこし協力隊により
商店街振興をはかる

791万円



市民会館周辺整備関連事業

市民交流センター（仮称）建設の実施設計、
市民会館・図書館分館の解体工事の実施設計

4,851万円



人工透析患者通院費助成事業

人工透析で通院する
市民税非課税世帯の方に対し
通院交通費を助成

96万円



高度衛生管理型市場 移行円滑化事業

市場移行に必要な電動フォークリフトを
卸売・仲買業者が購入する費用を助成

2,940万円

市政を問う

12人が一般質問を行いました。

【一口メモ】

境港市議会では、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」と、所属する会派を代表して行う「代表質問」（3人以上の会派のみ）があります。

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員につき最大1ページとしています。

しかし、上記の「各個質問」と「代表質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」では会派内でページの配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。なお、「教育長職務代理者」も、スペースの都合上「教育長代理」と表記しています。

ページ		質問事項	質問議員
5・6	代表質問	①教育行政について ②環境整備について ③防災対策の充実について	景山 憲
7	関連質問	①除雪対策について	平松 謙治
7	関連質問	①協働のまちづくりの推進について	浜田 佳尚
8	関連質問	①農業振興策と荒廃農地対策について ②企業誘致の促進方策について	米村 一三
9	代表質問	①規律ある行財政運営と協働の推進について ②経済の活性化と都市基盤整備について ③市民一人ひとりを大切にする教育と福祉の充実について	佐名木知信
10	関連質問	①防災対策について ②学校教育の充実について	築谷 敏雄
11	関連質問	①協働のまちづくりの推進について ②境港市民交流センター（仮称）建設への取り組みについて	荒井 秀行
12	各個質問	①総合的な健康増進活動の推進について ②市民交流センター（仮称）の自衛隊コーナーについて	定岡 敏行
13	各個質問	①ICT活用による健康・医療・介護分野の連携構築について ②自立支援医療（精神通院医療）について	田口 俊介
14	各個質問	①学校給食センターの運営（民間委託の検討、危機管理）について ②小中一貫校について	安田 共子
15	各個質問	①コミュニティ・スクール導入について ②子どもの居場所づくりについて	松本 熙
16	各個質問	①地域包括ケアシステムの推進について ②少子化対策について	足田 法行

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

センター管理運営について 十分な検討を



会派 きょうとう
景山 憲 議員

教育長 管理運営計画の 基本・実施計画を策定する

【景山】基本設計が進行している市民交流センター（仮称）は、ホール、図書館、防災拠点、市民交流の促進など今までにない多機能を持つ施設となる。これまでの施設と違った管理運営体制が必要。管理運営についての見解は。

【教育長】市民交流センター（仮称）は、「日常的に多くの人が行きかい集う、広場のような複合施設」を目指している。多機能をどのように運営していくかが課題であり、平成29年度から2力年で実施設計を行うのに合わせて、「管理運営計画」の基本計画・実施計画を策定する中で十分研究・検討する。



境港市市民交流センター（仮称）
※プレゼンテーション時のイメージ図

施設解体・撤去後の 跡地の利活用は

市長 ストックヤードの建設を含む 跡地利用を計画

【景山】本市の清掃センターでのゴミ焼却が終了して不要となった施設の一部の解体撤去と跡地の利活用についていかがう。また、今後においてのゴミの減量化に向けて、一時保管施設など新たに必要になる新しい建物など検討はどのような



本市の清掃センター

ものか。
【市長】清掃センターの焼却施設の跡地利用は、さらなるリサイクル推進のために枝木や衣類などのストックヤードの整備が不可欠であるので、国の循環型社会形成推進交付金を活用して整備する考え

であり、平成30年度から施設解体工事の設計を計画している。平成31年度、32年度の2力年で施設解体工事、ストックヤード建設を含む跡地利用設計およびその工事を計画していく。

公共施設に太陽光パネルの設置促進を

市長

保健相談センターへの設置を検討している

〔景山〕「地球温暖化対策の推進に関する法律」に沿って、今後、40%のCO₂削減が求められる。CO₂削減を實踐して行く上で再生可能エネルギーの利用促進・確保に向けて市庁舎、公民館、保健センターなどに太陽

光パネルを設置し電
源を確保していくこ
とも検討すべきと考
えるが、見解は。
〔市長〕現在策定中
の「境港市温室効果
ガス排出削減実行計
画（事務事業編）」
の計画で、議員の指
摘した施設について
も省エネルギー診断
を実施し、その中で
太陽光パネルの設置



上道小校舎に設置された太陽光パネル

も含めたポテンシヤ
ル調査を実施するこ
ととしている。まず、
保健相談センターへ
の設置に向け検討を
進めている。他の建
物でも耐震強度や設
備の利活用性、採算
性、防災面も考慮し、
実施可能な案件につ
いては電源確保に努
める。

災害時応援協定 実効性のある内容へ改定を

市長

必要に応じて
協定内容の見直しを行う

〔景山〕現在本市で
も災害時における
「鳥取県と県内全市
町村との間での災害
時相互応援協定」を
はじめとして、事業
者、他県の自治体と
の間で35の協定が締
結されているが、予
想される協定はすべ
て締結できたか。ま

た、これまでの協定
も時間の経過によ
り、実効性のある内
容に改定が必要に
なっているものもあ
ると考えるが、見解
は。
〔市長〕本市では、
県内外の自治体と災
害時相互応援協定を
締結しているほか民
間事業者などとの間
でも「福祉避難所の

協定」、「災害廃棄物
の処理等の協力に関
する協定」などを締
結している。平成29
年度には、「災害し
尿等の収集運搬の協
力に関する協定」を
締結する予定であ
る。今後も協定の実
効性を確保するため
必要に応じて協定内
容の見直しを行う。

境港市の災害時応援協定締結状況

番号	協定の名称	協定の相手	協定の締結日	内容
1	災害時の応援協定に関する協定	鳥取県及び県内各自治体	平成25年10月20日	相互応援
2	災害時における県内各自治体間の、関係市町村間の協定に関する協定	境港市・境港市商工会	平成25年10月20日	相互応援
3	災害時における県内各自治体間の、関係市町村間の協定に関する協定	境港市・境港市商工会	平成25年10月20日	災害救助
4	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害救助
5	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
6	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
7	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
8	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
9	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
10	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
11	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
12	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
13	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
14	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
15	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
16	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
17	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
18	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
19	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助
20	災害時における災害救助の協定に関する協定	鳥取県、鳥取県内各自治体、鳥取県立社会福祉協議会、鳥取県立中央体育会、鳥取県立中央体育会（上級部）	平成27年10月12日	災害時における災害救助

現況の協定書の状況

各地区への除雪機配備の強化を！

市長

他市町村の現況を確認し検討したい

22年から23年の正月に起きた豪雪を教訓に小型の除雪機9台を小学校や公民館に配備している。これらの除雪機が的確に運用されたか。

【市長】学校や公民館などにおいて利用され、地区によっては、市役所が所有する中型除雪機とともに歩道除雪にも活用された。

【平松】各地区においてこの除雪機の運用について共通認識がなされていないと

【平松】1月・2月の大雪により県内で大きな被害があった。本市においても久しぶりの30cmの積雪。本市では、平成



会派 きょうどう 平松 謙治 議員



2月の大雪 除雪された歩道

思うが。

【防災監】2月の公民館の館長会で説明を行った。

【平松】一部の公民館長や自治会長の話を聞くと、統一されていないように聞いている。十分な運用規定の説明を望む。

各地区の除雪機の配備台数は十分か。

【市長】他市の状況を確認し、検討したい。

【平松】自治会ごとに自助・共助を担っていただくためにも除雪機配備強化を望む。

若者広聴事業どのように活かす？

市長

直接意見交換しできるだけ施策に反映させる

【浜田】私はたびたび議会の場において、まちづくり若年層の意見が反映されているといえるのか問うてきた。また、



会派 きょうどう 浜田 佳尚 議員

若年層の意見聴取の機会の少なさを指摘してきた。今議会に若者広聴事業が上程されたことは喜ばしいことだ。この事業の意見交換の手法、またどのように市政に反映していくのか、具体的な内容・方向性は。

【市長】20歳代・30歳代の若者を委員に委嘱し、子育てや教育・移住定住などについて私が直接意見交換を行いたい。委員数は10名程度。委



若者との意見交換の場

員への事前アンケートを行いテーマ選定し、委員間のグループ討議をしてもらい、市への意見・提言を取りまとめてもらいたい。その上で私が意見交換をさせてもらい、できる限り施策に反映させていきたいと考えている。

【浜田】託児所の設置など、子育てしている人が参加しやすい配慮を。また、今後も継続的な会になることを望む。

企業誘致用土地造成を 荒廃農地で！

市長

「境港市まちづくり 総合プラン」で検討する

【市長】「境港市まちづくり総合プラン」の中で、荒廃農地を活用した新たな工業団地の造成を検討する予定である。現在、

ど数力所の土地を提示したが、面積などの条件が合わず、米子市で計画することになった。境港市内に企業誘致用の土地が少ない状況である。長年放置されている農地を活用して、誘致用土地の造成が必要であると考える。

県内外の参考事例をヒアリングするとともに、最適な造成規模や候補地の選定を検討している。荒廃地を活用した工業団地の造成には、農地転用、用地買収、用排水路の付け替えや財源の確保といった課題がある。関係法令との整合性などを考慮しながら、課題の解決策にスピード感をもって、工業団地の造成を具体的に計画したい。

【米村】新規事業を計画するので、境港市内に好適地がないかとの打診があり、産業部と相談しながら、竹内工業団地な



会派 きょうどう
米村 一三 議員



未利用地が少なくなった竹内工業団地

新方式の営農による荒廃地対策を！

市長

担い手農家へ農地拡大・集積を実施している

【米村】米子市「ユニバーサル就労」と「耕作放棄地再生事業」を企業使命として、地域活性化にも

貢献できる新形態の農業の取り組みが展開されている。ユニバーサル就労とは、精神的、身体的、知的、社会的な理由により働きたくても働きたいすべての人が働ける仕組みや環境をつくる取り組みである。本市の荒廃地対策の取り組みに参考になる事例で、検討すべきと考える。

【市長】その法人は福祉事業所と連携して、約7ヘクタールの再生農地でサツマイモ、玉ネギ、トマトなどの栽培に取り組まれている。本市においては、荒廃農地の中心施策として、規模拡大に意欲のある担い手農家に対して、農地集積に取り組んでい



富益町で見受けた看板

若い力を まちづくりに活かす施策は

市長

次代を担う若者を 委員とし意見交換を行う



高校生と議員の懇談会

【佐名木】誰も見たことのない社会に立ち向かうためには、若い人の斬新で時代を先取りした発想と行動力が求められる。次代を担う若い方と意見交換を行い、若い力をまちづくりに活かす



自民クラブ 佐名木 知信 議員

くりに活かす施策の取り組みについてうかがう。

【市長】新たな広聴事業として20歳代・30歳代の若者を委員に委嘱し、子育てや教育、移住・定住などのテーマについて、私が直接意見交換を行い、若い力をまちづくりに活かしたい。

これからの境港を創り上げていくためには、現在、別々の課で担当する広報と広聴部門の一体化をすべきではないか。

【総務部長】担当課は違うが、同じ総務部内で連携をはかる。

【佐名木】ワークショップなどで、参加者の意見を引き出すファシリテーター役が重要となる。その人材育成や環境づくりも行ってほしい。

救急救命機関の整備の 必要性について

市長

済生会病院で救急医療体制の 整備をはかる

【佐名木】国際観光都市へ発展していく上で、危機管理に対応可能な医療機関の存在は必要不可欠となる。また、超高齢社会の到来も見据える中、24時間対応可能な救急救命機関の整備の必要性についてうかがう。

【市長】済生会境港総合病院は、県より感染症指定医療機関と指定され、感染症



鳥取県済生会境港総合病院

による健康危機発生時には、感染症の患者を入院させるなどの措置がとれるよう危機管理体制が整備されている。また、当病院は二次救急医療にあたっており、必要に応じて三次救急医療機関に搬送するなど、24時間対応可能な救急医療体制整備がはかられている。

【佐名木】現状では、急性心不全、心筋梗塞・脳梗塞のような脳血管障害など、生命の危険がともなう症状の方には極めてリスクが高いと言わざるを得ない。市民が安心して暮らせるまちを目指すには、さらなる救急医療体制の充実が不可欠だと考える。

除雪計画や 県・市内諸機関との連携は

市長

除雪会議において 適切な除雪体制の構築をはかる

選定を行い、積雪量10cmを目安とした一次除雪では幹線道路など、積雪量20cmを目安とした二次除雪ではバス路線などを除雪している。また、国・県の出先機関や関係市町村、さらには電力事業者や運送事業者から組織される「米子地区除雪対策協議会」においても、作業の円滑化や事前に情報の共有と連絡体制の確認などを行っている。

【築谷】豪雪時の食料の確保やライフラインについての民間企業との協定は。【市長】食料の確保は、県内市町村の連携備蓄や、県外自治体との相互応援協定、民間事業者との協定により確保に努め、境港市建設業協議会、中国電力株式会社米子営業所、鳥取県LPガス協会西部支部と協定などを締結している。

【築谷】除雪作業の計画や、県・市内諸機関との連携は。【市長】交通量やバス路線、道路幅員などを考慮し、路線の



自民クラブ 築谷 敏雄 議員



市内除雪作業状況

コミュニティ・スクール 導入について

教育長代理

中学校区で学校支援の 総合的な計画を立てる

【築谷】従来の学校支援・地域活動や放課後学習活動など各中学校単位の取り組みを小・中学生の学びの場にどのように結びつけるのか。【教育長代理】学校運営協議会において、育てたい子ども像など、目指す学校のあり方や学校支援の総合的な計画を立て、地域が具体的に

どのような学習支援活動ができるのか教育課程の中に組み入れていくことが必要であると考える。【築谷】中学校区単位とした取り組みについては将来の小中一貫教育を見据えて考えているのか。

【教育長代理】コミュニティ・スクールを中学校区で開設し、今後、そこに小中一貫教育を結びつけ互いに連携をはかりながら展開していけば、相乗効果が発揮され、より高い教育効果が得られると考える。



地域の先生と子どもたちの学習状況

協働のまちづくりは 民意の集約から

市長

自治会や事業者などと 連携体制の構築に努める



自民クラブ 荒井 秀行 議員

【荒井】協働のまちづくりを行う上で、民意の集約が重要。昨年募集したパブリックコメントの応募は何件あったか。

【市長】近年では、「美保飛行場周辺まちづくり基本計画案」や「境港市まちづくり総合プラン案」など7件実施し、コメントがないものから、多いもので8件あった。

【荒井】市民から市政に意見を述べる手段は、パブリックコメントや市長と語る会などがあるが、ほかに方法・手段はないか。

【市長】広聴事業の一つとして、「市民の声提案箱」も実施している。また、広聴事業に限らず、各

部署で実施している出前説明会などを通じ市政に対する意見を聴いている。

【荒井】市民ニーズの確な連携・協力体制の強化が必須と考える、市長の見解は。

【市長】日頃から市民ニーズの確な把握や自治会や事業者などとの連携・協力体制の構築に努め、積極的に協働による取り組みを検討する必要がありますと考えており、庁内一丸となって取り組みを進めている。



市民と協働して管理している
竹内西緑地の荒廃松林

市民の意見集約や 内容説明を十分に

教育長代理

実施設計では 傾聴・広聴・広報に努める

【荒井】市民交流センター（仮称）の基本設計を確定するには、建物の規模・建設コスト、維持管理費、運営方法・運営方針、建物の建設方式を提示し、市民の理解を得る必要がある。教育長の見解は。

【教育長代理】建設規模などは、基本計画の中で定め説明。運営方針などについては、今後策定する管理運営計画に盛り込む予定。利用団体などから意見を聴取り、計画に反映する。建設方式は、防衛省の補助事業を活用している。



境港市民会館

【荒井】実施設計において、市民参画をどう進めるか。

【教育長代理】今後は、基本設計の内容を利用団体などに説明した上で、もろった意見を実施設計に反映していきたい。

【荒井】箱物の現状、過去の経緯を当市は、どう分析。

【教育長代理】既存の図書館や市民会館は、運営に従事した職員の意見を聴取した。聴取した経験を有効に活かして反映する。

市民の健康増進へ 総合的な推進体制を

市長

中期的な視点で
可能性を検討したい



日本共産党境港市議団
定岡 敏行 議員

【定岡】「健康で長生き」はみんなの切なる願い。食生活の改善から体力づくり、検診促進と健康相談からまちづくりまで

幅広い取り組みが必要な課題。市も多彩なメニューをもって各課それぞれに、また、連携もしてがんばっているが、市民の健康状態の全体的把握から始まって、達成目標を明確にした幅広い行動計画を持ち、「連携」を超えて総合的に推進する体制が必要ではないか。

【市長】必要性は感じているが、中期的視点に立った取り組みが必要。今、検診すすめ隊をはじめ医療機関の協力も得て、健康診断の受診率も、意識も上がっている。さらなる連携をはかりながら、計画策定の可能性を検討したい。



毎週のストレッチで元気
(西森岡会館)

【定岡】市民交流センター（仮称）のプレゼンテーション時のイメージ図に、自衛隊の装甲車らしきものの展示の絵があり、市民から「なんで市民交流センターに装甲車か」という意見が寄せられた。多額の防衛補助であって、自衛隊コ

市民交流センター（仮称） 装甲車の展示か

教育長
代理

軍事車両や
兵器の展示はしない

ナーはありうるとしても、災害時に大きな役割を果たしている自衛隊員の活動の広報にとどまるべきで、市民や子どもたちが交流し行き交う市民センターや図書館の一角に、戦車など軍事車両や武器など殺傷兵器の展示があってはならないと思うが、どうか。今後の管理運営計

画の大もとに関わる問題として確認しておきたい。

【教育長代理】自衛隊音楽隊のコンサートや読み聞かせ、共有スペースでの自衛隊の災害時救助活動の展示などを考えているが、軍事車両や兵器、戦闘場面の展示を行う考えはない。



境港市民交流センター（仮称）
※プレゼンテーション時のイメージ図

医療・介護分野に ICTの活用を！

市長

先進事例の動向を注視し 調査研究を行う



公明党 田口 俊介 議員

〔田口〕長崎県五島市で構築・運用されている調剤情報共有システムは、市民の服薬情報を一元管理

することにより重複処方を防ぎ、医療費の削減をめざすもので、2014年に導入し、現在このシステムを活用したさまざまな取り組みも行われている。今後、地域包括ケアの推進や医療費の抑制、市民の健康づくりなど、幅広い分野でICTを活用したシステムの構築について市長の所見は。

が完了し、共有が容易な調剤情報から地域医療・介護連携をめぐしたものであり、大変な成果をあげておられるということであるので、本市における市民の健康づくりや独居高齢者などの見守り情報、救急現場などでの活用の可能性と、導入に係る費用などについて、先進事例の動向を注視しながら調査研究を行っていききたい。



調剤情報の「見える化」で 医療費削減を

自立支援医療の更新について改善を

福祉保健 部長

事務処理体制について 再度確認したい

〔田口〕自立支援医療は精神疾患の治療のため通院による医療が継続的に必要な方の自己負担を軽減するものだが、現在の受給者数は。また、制度の周知はどのように行われているか。
〔市長〕受給者数は現在、701名。周知については市ホームページや市報への

掲載、チラシの作成・配布とともに、市内や米子市の精神科にも配布し、病院からも声かけをしてもらっている。
〔田口〕受給者証の更新について、更新時期を受給者が把握できているか疑問である。病院からもうすぐ切れると言われ、あわてて手続き

をするという話も聞いている。手続きのできる3カ月前ごろから市が受給者に対し通知を出すなどしては。
〔福祉保健部長〕あらためて事務処理体制について、どういった体制をとることが最も安心して制度を使ってもらえるか、再度確認したい。



必要とする方へ 使い勝手の改善を

給食センター 直営継続も検討を

教育長

民間委託のメリット
デメリットも検討したい



日本共産党境港市議団
安田 共子 議員

【安田】学校給食センター調理業務の民間委託の内容や計画は。

【教育長】委託する業務、開始年度、事業者の選定方法など、新年度より具体的に検討する。

【安田】本市では、保育所も含め、正職員の調理員の補充をしない方針だが、これで子どもたちの食に責任を持つと言えるのか。どうすれば、良い給食にできるか職員の中で検討することが必要。直営で続ける方策も検討してほしい。

【教育長】民間委託のメリットデメリットを押さえながら検討を進めたい。もし直営という方針を定めたなら、職員体制をもう一度見直しながら考えていかななくてはいいけない。



給食センター調理員のしごと
(境港市学校給食センター HP より)

【市長】調理員の補充は、スムーズに民間委託できるように対応していきたい。保育所の調理員の補充について、今はっきりした考え方を作っていない。給食センターの民間委託に合わせトータルで考えなくてはならない。

校区審議会答申後 方針撤回ないか

教育長

答申を尊重し
住民の意見も聞いて進めたい

共有し、9年間を通じたカリキュラムで教育効果を高めるために、考えている。

【安田】教員の負担増大にならないか。

【教育長】校務を見直し、地域の力も借り、教員の負担を増やさない努力が必要だ。同じ施設に小中学校の教員が入れば、小中学校の学習の見通しが理解しやすくなる。

【安田】校区審議会の答申が出たら、その方針が撤回される可能性はないのか。

【教育長】その方針が進められない状況が起これば、検討し直すことはあると思う。答申を尊重し住民の意見をよく聞きながら進めたい。



小中学校の将来を考えるとき

地域とともにある 学校の仕掛けづくりは

教育長

学校・家庭・地域が担う
役割を明確にする



【松本】コミュニティ・スクールの導入が示された。準備担当の人選と配置はどのように。
【教育長】学校・家庭・地域との連携を進めていける人材を嘱託職員として採用



コミュニティ・スクール
(学校運営協議会制度)：文部科学省HPより

し、教育委員会事務局に配置したいと考えている。
【松本】コミュニティ・スクールの導入には、学校現場の共通理解も必要と考える。開かれた学校の第一歩として、地域とともにある学校づくりの有効な仕掛けづくりはどのように。
【教育長】家庭や地域の教育力の低下が指摘される一方で、教育現場はさまざま業務の対応に追わ

れている。
学校・家庭・地域が担う役割の明確化と連携で、地域の未来の担い手である子どもたちの成長を支えることがコミュニティ・スクールの目的だ。
【松本】学校運営協議会が設置される。協議経過の公表により、それらを通じて保護者や地域の意見を学校運営に反映されることを期待する。

子どもの 居場所づくりについて

市長

要望があれば
考えなければならない

【松本】民間団体や住民と行政が連携する子どもの居場所づくりが始まっている。ひとり親世帯や、経済的事情で夕方以降に子どもだけで過ごす家庭が増えている。
かつて地域が持っていた人と人とのつながり、その当たり前の関係をもう一度新しい形で地域に取



広がる子どもの居場所—地域の大人の協力を得て—
(学校運営協議会制度)：文部科学省 HP より

り戻すことが求められている。急ぐべき課題と考えるが。
【市長】そういった状況は増えていると認識している。放課後児童クラブを6時半まで延長した。子ども食堂は民間団体が開設しており、県は事業の立ち上げや維持費の支援制度をもっている。南部町でも立ち上げ

られるようだ。
状況は認識しているが、まだ声は届いていない。そういった要望があれば考えなければならないと思う。
【松本】お年寄りや育児中の親子も加わる事例もある。子どもの居場所づくりが広がれば、子どもたちの生活の質の向上にもつながる。

住民主体の地域づくりについて

市長

住民主体の組織の構築を推進



公明党 足田 法行 議員

【足田】本市において、第2層の資源であるふれあいの家事業を強化することが重要で、各地域、協体の中で、どう他の資源との連携・強

化をはかるのか、それに関しての所見は。
 【福祉保健部長】各地区からふれあいの家事業について相談を受け、議論の最中である。議員の提案を議論の中で紹介したいと思う。



ふれあいの家

【足田】どうしたら病気や要介護状態などで孤立した高齢者をふれあいの家に来てもらったり、介護予防に取り組んでもらったりするのかが地域で協議することが重要。総合事業の住民主体の地域づくりに関して市長の考えは。
 【市長】地域包括ケアシステムの構築が重要である。また、地域で住民が主体となり意識をしっかりと持った組織ができるよう行政としてしっかりとしたシステムの構築のために皆さんと協議を進めていきたい。

人生・結婚に対しての支援を

市長

少子化対策をさらに深めていく

【足田】子育てするなら境港として少子化対策を充実させ、子育てしやすい環境を整えているが、子どもは増えていかないう状況である。本市

の合計特殊出生率低下の原因を調べるべきと思うが。
 【市長】合計特殊出生率の低下にはさまざまな要因があり、例えばライフスタイルの多様化などにより、未婚、晩婚化が進んでいることや、子育てに対する不安感などが原因の一つとして考えられる。
 【足田】結婚や妊娠・出産・子育てについてのマイナスイメージを持つ若い人が増

えている。若い人に早い段階で、人生、結婚に対してライフプランやロールモデル・支援メニューを提示し、自身の働き方や生き方について考える機会を提供することも必要で、希望するライフスタイルの実現を支援するのはどうか。
 【市長】議員から紹介のあったケースも参考にしながら、少子化対策の取り組みを深めていきたい。



ライフプラン（イメージ図）

議会運営委員会 行政視察報告

議会運営委員会では、次の日程・内容で視察に行きました。視察の報告書については、市議会ホームページで閲覧できます。

視察日 平成29年1月25日～26日

○視察先と内容

- ・大阪狭山市 「通年議会、予算決算常任委員会について」
- ・河内長野市 「予算委員会、決算委員会について」

平成29年3月定例会 議決結果

◆人 事

案 件	議決結果
人権擁護委員候補者の推薦について	推薦に同意（全会一致）
人権擁護委員候補者の推薦について	推薦に同意（全会一致）
人権擁護委員候補者の推薦について	推薦に同意（全会一致）

◆議 案

案 件	議決結果
専決処分の承認を求めることについて〔平成28年度境港市一般会計補正予算（第4号）〕	承認（全会一致）
平成28年度境港市一般会計補正予算（第5号）	原案可決（全会一致）
平成28年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
平成28年度境港市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
平成28年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
平成28年度境港市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市一般会計予算	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市国民健康保険費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市駐車場費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市下水道事業費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市高齢者住宅整備資金貸付事業費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市介護保険費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市土地区画整理費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市市場事業費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市後期高齢者医療費特別会計予算	原案可決（賛成多数）
境港市控除対象特定非営利活動法人の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市特別医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市児童クラブ条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市介護予防事業の手数料の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約を定める協議について	原案可決（全会一致）
権利の放棄について	原案可決（全会一致）

◆陳 情

案 件	議決結果
「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書」の採択を求める陳情	閉会中の継続審査（賛成多数）
テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）の創設に反対する陳情	閉会中の継続審査（賛成多数）
公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情	採択 市長送付（全会一致）
希望者に安定ヨウ素剤の事前配布を求める陳情	採択 市長送付（全会一致）

また、2月臨時議会において、工事請負契約の締結についての議案1件が原案どおり全会一致で可決されました。

表紙・裏表紙の写真を募集します！

議会だより編集部では、より市民のみなさんと相互に交流できる紙面作りをめざし、議会だより「つなぐ」に掲載する「表紙・裏表紙の写真」を募集しています。
写真の応募については下記をご覧ください。

1 テーマ

「境港市内で撮影した写真」または、「境港市に関係のある写真」

2 応募資格

市内在住、在勤・在校の方

3 応募できる写真

被写体となった人物などに応募（掲載）の許可が得られたもの。他人の著作権、肖像権を侵害したような行為が行われた場合におけるトラブル等には一切責任を負いかねます。

4 応募方法

氏名、住所、電話番号、写真のタイトル、撮影場所、コメントを記入し、画像データを添付のうえ、議会事務局宛てにメールで送ってください。

お手数ですが、メール到着確認のため、メール送信後、議会事務局宛てにお電話をいただきますようお願いいたします。

宛先 境港市議会事務局

メールアドレス gikai@city.sakaiminato.lg.jp

電話番号 0859-47-1097

5 写真の選定

写真の選定は議会だより編集部で行います。

6 その他

写真に関しては編集の都合上、トリミング処理などの加工を行う場合があります。

著作権は作者本人に帰属しますが、採用された写真は市議会のホームページなどに掲載させていただきます場合もあります。

あしがき

境港市議会だよりが再刊されてから、おかげさまで1年を迎えました。

議会だより編集部会のメンバーは1年ごとにメンバー変更の協議をする取り組みがあります。協議の結果、メンバーの変更は行わず、今年度も、1期目の新人議員チームで議会だよりの編集をさせていただくことになりました。

市民のみなさんに、より親しまれる議会だより「つなぐ」になるよう、いっその努力と工夫をします。よろしくお願います。

(浜田)

【発行責任者】

議長 岡空 研二

【議会だより編集部会】

部会長 浜田 佳尚

築谷 敏雄

足田 法行

安田 共子

